

5月 新着図書

妄想美術館

著者名：原田マハ ヤマザキマリ
 出版者：SBクリエイティブ



アートを溺愛する作家と漫画家の2人が創る究極の美術館とは？原体験から現在に至るまでのアートヒストリー、偏愛アーティストたちから受けたインスピレーション、小説や漫画の創作のバックステージをまじえ、名画にまつわる裏話、お気に入りの美術館案内、絵画鑑賞の秘訣、画家たちの知られざるエピソードなどアート談義は永遠に尽きない。

星を掬う

著者名：町田そのこ
 出版者：中央公論新社



辛かった、哀しかった寂しかった。痛みを理由にするのは楽だった。でも一。すれ違う母と娘の物語。

世情

著者名：中村利夫
 出版者：たま出版



精神世界の老舗出版社で編集長を務めること20年、その編集長が書き下ろした、21のエッセイ。時代の流れを読み解きながら、変わりゆく世情に、変わらぬ価値を問う。

あちらにいる鬼

著者名：井上荒野
 出版者：朝日新聞出版



1966年、講演旅行をきっかけに男女の仲となる二人の作家一白木篤郎と長内みはる。繰り返される情事に気づきながらも心を乱さない篤郎の美しい妻、笙子。愛と“書くこと”に貫かれた人間たちの生を描ききった傑作。至高の情愛に終わりはあるのか？

イギリスの飾らないのに豊かな暮らし365日 英国の人たちから学びたい毎日を心地よく過ごすための鍵

著者名：江國まゆ
 出版者：自由国民社



日常に潜む、さり気ないユーモア、優しさ、リスペクト。飾り気がなく、つつましく、そして何よりもフェアであることを心がけて。イギリスの人たちが大切にしていることを垣間見れば、あなたの生活の中にちりばめられた宝物のかけらたちにも気がつくことでしょう。

燕は戻ってこない

著者名：桐野夏生
 出版者：集英社



北海道での介護職を辞し憧れの東京で病院事務の仕事に就くも、非正規雇用ゆえに困窮を極め、未知の「生殖医療ビジネス」に誘われる29歳女性・リキ。バレエ界の「サラブレッド」としてキャリアを積み、自らの遺伝子を受け継ぐ子の誕生を熱望する43歳男性・基。その妻で、不育症と卵子の老化により妊娠を諦めざるを得ず、「代理母出産」という選択をやむなく受け入れる44歳女性・悠子。

独り立ち 吉原裏同心 37

著者名：佐伯泰英
 出版者：光文社



端午の節句のその日、大門前に立った男女。一年余の京での修業を終え、吉原に戻った神守幹次郎と加門麻であった。再会を喜び合う吉原の面々だったが、長い闘いで吉原が失ったものは大きかった。幹次郎は会所を率い、吉原を再生させることを誓う。そんな中、廓で小さな騒ぎが。やがてそれが幕閣を巻き込む大騒動へと発展していく。新しく始まる吉原の運命やいかに。

泣きかたをわすれていた

著者名：落合恵子
 出版者：河出書房新社



「いつでも死ぬ。それは、なにより大きな安堵だった。心残りもない。それは、大きな解放、自由だった」子どもの本の専門店「ひろば」を営みながら続いた7年にわたる母親の介護、愛する人たちとの別れ…その先に広がる自由とは果たして一。いま、冬子さんの「物語」が幕を開ける。

赤と青とエスキース

著者名：青山美智子
 出版者：PHP研究所



メルボルンの若手画家が描いた一枚の「絵画」。日本へ渡って三十数年、その絵画は「ふたり」の間に奇跡を紡いでいく。一枚の「絵画」をめぐる、五つの「愛」の物語。彼らの想いが繋がる時、驚くべき真実が現れる！仕掛けに満ちた傑作連作短篇。

愛のぬけがら

著者名：エドヴァルド・ムンク
 出版者：幻冬舎

不安こそが、常に心を駆り立てる。やがて不安は愛も、死さえも焼き尽くす。天才画家の異様な魂で綴られてきたノートが、原田マハの心を撃ち抜いた。新しい人生が目覚ます一撃の書。

5月 新着図書

空にピース

著者名:藤岡陽子
出版者:幻冬舎



公立小学校の教師になって五年目のひかりは、都内の赴任先で衝撃を受けていた。授業中に教室を出て行く今田真亜紅、不登校気味で給食だけ食べに来る佐内大河、クラス分けに抗議をする児童の母親、日本語が話せないベトナム国籍のグエン・ティ・ロン。前任者は鬱で休職中。さらに同僚からは「多くのことを見ないようにしてください」と言われてしまう。

奇跡

著者名:林真理子
出版者:講談社



男は世界的な写真家、女は梨園の妻―生前、桂一は博子に何度も言ったという。「僕たちは出会ってしまったんだ」出会ってしまったが、博子は梨園の妻で、母親だった。「不倫」という言葉を寄せつけないほど正しく高潔な二人―。これはまさしく「奇跡」なのである。私は、博子から託された“奇跡の物語”をこれから綴っていこうと思う。一生に一度、林真理子が描かずにはいられなかった愛の“奇跡の物語”。

かくして彼女は宴で語る 明治耽美派推理帖

著者名:宮内悠介
出版者:幻冬舎

明治末期に実在した若き芸術家たちのサロン、その名も「パンの会」。隅田川沿いの料理店「第一やまと」に集った。木下杢太郎、北原白秋、石井柏亭、石川啄木等々が推理合戦を繰り広げる。そこに謎めいた女中・あやのも加わって―若き芸術家たちが謎に挑む傑作青春ミステリ。

さもなくば黙れ

著者名:平山瑞穂
出版者:論創社

コロナ禍から10年が経過した日本の社会…。パイザーを利用した相互監視システムが構築され、どんな理由であれ、適合できない人々は「アンブラ」と呼ばれた。不適合の人々は“静山泊”に集まり共同生活を送るものの、地域住民による排斥運動に悩まされる。彼ら・彼女らの行く場所はあるのか？

もりのくまさん

著者名:馬場祥弘
出版者:ひさかたチャイルド

歌いながら楽しめる、うたの絵本シリーズ。歌詞に合わせて場面が展開しているので、ページをめくりながら歌えて、親子の楽しいひとときが過ごせます。巻末には楽譜も掲載。

これから大人になる君たちへ 学校では教えてくれない未来を生き抜くヒント

著者名:池上彰
出版者:KADOKAWA

18歳で成人。どうすればいい？お金、働き方、幸福、犯罪、SDGs、ジェンダー、ネット、政治…大人になるまでに知っておきたい勉強よりも大切な世の中のしくみとルール。

きみはすばらしい いまのアリとキリギリス

著者名:のぶみ
出版者:東京ニュース通信社

そのとしキリギリスは、はじめてアリのためたごはんをふゆをこしました。きみはすばらしい！！っていいあいながら、しあわせにくらしました。

